

千葉市地球温暖化対策実行計画を策定しました
～2050年カーボンニュートラルの実現を目指して～

千葉市では、地球温暖化対策に関する施策を計画的・体系的に推進するため、施策の方向性や目標などを定めた「千葉市地球温暖化対策実行計画」を策定しましたので、お知らせします。

1 趣旨

温暖化への対策が地球規模で求められる中、都市と自然の魅力をあわせもつ千葉市が持続可能な都市として発展し続けるためには、本市の魅力を脱炭素の視点からも磨き上げる必要があります。

そのため、本計画は2050年カーボンニュートラルを見据え、目標年度を2030年度とした新たな目標を設定するとともに、温室効果ガス排出抑制策、進行しつつある地球温暖化の影響への対応策等について体系的に整理することにより、市民・事業者・行政等の様々な主体が意識を共有し具体的な取り組みを推進するために策定するものです。

2 概要

(1) 計画期間

令和5（2023）年度から令和12（2030）年度までの8年間

(2) 計画の構成

第1章 計画の方向性と背景（計画の方向性、地球温暖化を取り巻く状況、千葉市における温室効果ガス排出量の現状など）

第2章 計画で目指す将来像（2050年のあるべき姿と6つの施策の柱、脱炭先行地域の取り組み）

第3章 温室効果ガス排出量の削減目標（温室効果ガス排出量の将来推計、温室効果ガス排出量の削減目標）

第4章 再生可能エネルギーの導入目標（再生可能エネルギー導入ポテンシャル、市域における再生可能エネルギーの導入目標など）

第5章 柱ごとの目標と施策展開（6つの柱と目標、柱ごとの施策展開など）

第6章 計画の進捗管理（計画の推進体制、点検評価と進行管理）

(3) 計画目標

ア 市域における温室効果ガスの削減目標

業務・家庭・運輸の3部門合計で、平成26（2013）年度比48%削減（▲246万t-CO₂）を目指すとともに、さらなる高みとして50%の削減を目指します。

イ 市役所における温室効果ガスの削減目標

平成26（2013）年度比50%削減（▲110千t-CO₂）を目指します。

ウ 市域における再生可能エネルギーの導入目標

令和12（2030）年度までに981MWの導入（令和3年度までの導入実績：177MW）を目指します。

（4）計画の特徴

ア 6つの施策の柱と目指す姿の設定

＜6つの施策の柱＞	
①柱1	使用エネルギーのカーボンニュートラル化 目指す姿：あらゆるエネルギー消費の最適化されたまち
②柱2	モビリティのゼロ・エミッション化 目指す姿：クリーンで快適な交通環境が実現したまち
③柱3	住宅・建築物のネット・ゼロ・エネルギー化 目指す姿：サステナブルで快適な生活空間を過ごせるまち
④柱4	市役所の率先行動 目指す姿：公共施設のネット・ゼロ化されているまち
⑤柱5	気候変動への適応 目指す姿：気候変動に適応し、誰もが安心して暮らせるまち
⑥柱6	あらゆる主体の行動変容・意識醸成 目指す姿：環境に寄り添うライフスタイルが広がるまち

イ 環境・経済・社会の統合的発展

多様な主体が一体となり、継続的に脱炭素社会に向けたまちづくりを進められるよう「環境と経済の好循環」および「環境とレジリエンス向上（防災力強化）の同時実現」を重視した計画としました。

ウ 脱炭素先行地域の取り組み

本市は令和4（2022）年11月に「脱炭素先行地域」に選定されました。本計画では「脱炭素先行地域」に基づく取り組みも盛り込み、官民連携の下、地域の脱炭素化に取り組みます。

3 市ホームページでの公表

【URL】<https://www.city.chiba.jp/kankyo/kankyohozen/datsutanso/ondanka/r4onntaieikaku.html>



4 添付資料

千葉県地球温暖化対策実行計画【概要版】

※計画（本編）は、市ホームページに掲載しています。

【千葉県総合計画】

